

精神保健福祉センター一報

平成28年度

奈良県精神保健福祉センター

目 次

1	職 員	1
2	精神保健福祉相談	2
3	教 育 研 修	3～
4	技 術 支 援	4
5	支 援 種 別	5～
6	組 織 支 援	6
7	精神医療審査会事務	7
8	精神障害者保健福祉手帳 及び自立支援医療(精神通院)の判定	8
9	調 査 研 究	8
10	自 殺 対 策 事 業	9～15
11	薬物依存対策	16

1 職 員

平成28年4月1日現在

職 種 区 分	医 師	事 務	精神保 健福祉 相談員	心 理 判定員	電 話 相談員	保 健 師	合 計
職 員	2 [内兼務1]	4 (2)	3	1	1 (1)	1	12 (3)

* () は日々雇用職員再掲

2 精神保健福祉相談

精神保健福祉センターでは、精神保健福祉及び精神障害者福祉に関する相談及び支援として、保健所並びに関係機関が取り扱った事例のうち、複雑又は困難なものに対応しております。

平成28年度における精神保健福祉相談実績は、表2-1から表2-7のとおりです。

表2-1 相談内訳

	件数	%
所内相談	11	4.8
電話相談	220	95.2
計	231	100.0

表2-2 利用状況

	件数	%
新規	213	92.2
継続	18	7.8
計	231	100.0

表2-3 相談者

	件数	%
本人	85	36.8
家族	125	54.1
本人・その他	6	2.6
その他	15	6.5
計	231	100.0

表2-4 相談経路

	件数	%
医療機関	4	1.7
保健所	0	0.0
市町村	7	3.0
関係機関	21	9.1
センターホームページ	34	14.7
広報	10	4.3
一般情報	47	20.3
その他不明	108	46.8
計	231	100.0

表2-5 年齢別・性別

	男	%	女	%	不明	%
10歳未満	0	0.0	2	1.0	1	0.0
10～19歳	10	4.3	7	3.6	0	0.0
20～29歳	13	5.6	28	14.6	2	0.0
30～39歳	22	9.5	16	8.3	0	0.0
40～49歳	13	5.6	16	8.3	0	0.0
50～59歳	12	5.2	12	6.3	0	0.0
60～69歳	11	4.8	8	4.2	0	0.0
70歳以上	8	3.5	4	2.1	0	0.0
不明	142	61.5	99	51.6	3	100.0
計	231	100.0	192	100.0	6	100.0

表2-6 相談内容

	件数	%
精神疾患に関すること	62	26.8
うつ病、うつ状態に関すること	35	15.2
アルコールに関する問題	20	8.7
薬物依存に関する問題	9	3.9
老人性疾患に関すること	7	3.0
児童・思春期に関すること	8	3.5
発達障害に関すること	14	6.1
心の健康づくりに関すること	10	4.3
社会復帰に関すること	0	0.0
社会的ひきこもりに関すること	6	2.6
その他	60	26.0
計	231	100.0

表2-7 対応内容

	件数	%
傾聴・助言	148	64.1
情報提供	60	26.0
他機関紹介	23	10.0
センター来所予約	0	0.0
計	231	100.0

3 教育研修

県内関係諸機関の精神保健福祉業務に従事する各職種に対して、精神保健福祉に関する専門的知識と技術向上を図るため、研修会及び連絡会議等を開催しました。

① 精神保健福祉業務従事者研修会

精神保健福祉相談業務を担う主に従事年数が少ない職員を対象に精神保健福祉相談を受けの際に必要なとされる精神障害者への個別支援技術の展開方法を学び、精神障害者や家族等に対して人権に配慮した精神保健福祉相談業務が行えるよう研修会を開催しました。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
講義：「精神保健福祉相談の基礎～精神障害者への個別支援技術の展開～」 講師：学校法人桃山学院大学 桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授 辻井 誠人 氏	平成 28 年 7 月 29 日	64名	精神保健福祉専門職（保健、医療、福祉、行政職員等）

② 思春期精神保健研修会

精神保健医療福祉関係機関や教育機関において思春期の相談支援を担う職員が、思春期の特性を踏まえ、様々な精神的問題についての知識や理解を深め、適切な相談支援が図れることを目的に開催しました。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
講義：「思春期メンタルヘルスの相談支援」 講師：京都大学大学院医学研究科 講師 野間 俊一 氏	平成 28 年 8 月 19 日	70名	精神保健福祉専門職（保健、医療、福祉、行政職員等）、教育関係職員

③ 災害時こころのケア研修会

災害時にこころのケア活動等により被災者支援に関わる専門職が、災害発生時に迅速かつ適切な相談支援が可能となるよう、こころのケアについての知識の習得と支援技術の向上を目的に開催しました。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
講義：「災害時のこころのケア～急性期から中長期の精神保健活動」 講師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部 災害等支援研究室 室長 鈴木 友理子 氏	平成28年11月11日	41名	当事者、家族、精神保健福祉専門職（保健、医療、福祉、行政職員等）

④ 自殺予防のための電話相談研修会

精神保健福祉や自殺予防の電話相談に従事する精神保健医療福祉専門職等が、自殺のリスクに配慮した相談対応の仕方を学び、さらに必要な場面で適切な機関につなぐことができるよう研修会を開催しました。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
講義・演習：「希死念慮のある人からの相談の受け方」 講師：特定非営利活動法人メンタルケア協議会 精神保健福祉士 西村 由紀 氏	平成29年1月20日	32名	当事者、家族、 精神保健福祉専門職（保健、医療、福祉、行政職員等）

⑤ 飲酒と健康を考える研修会

アルコール関連問題に関わる支援者に対し、正しい知識の習得や相談支援技術の向上を目指すとともに、地域のアルコール関連問題解決に取り組む支援者や自助組織の連携を図ることを目的に研修会を開催しました。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
講義： 「家族からの相談の受け方、関わり方」 体験談： 「断酒会会員体験談発表」 事例検討： 「60代男性で継続支援がされていないために妻への暴言暴力が絶えず、内科的な入院に至った事例」 講師： 医療法人ひがし布施クリニック 精神保健福祉士 上田 貴美子 氏	平成29年3月21日	18名	アルコール関連問題に関わる支援者

4 技術支援

保健所・市町村精神保健福祉専門職連絡会

保健所並びに市町村が実施する業務がより効果的に展開されるよう行政に配置されている精神保健福祉士（精神保健福祉相談員）に対し、情報交換や研修等を実施した。

内 容	開催回数	延参加人数	担当職種
保健所・市町村精神保健福祉専門職連絡会	6回	60名	精神保健福祉相談員

奈良県精神保健福祉センター事例検討会

事例検討を通じて、精神保健福祉に関する知識・援助技術の向上を図るとともに、精神障害者の地域生活支援の課題を明確にし、課題解決のための具体的な方法の糸口を見いだすこと、さらに関係機関の役割を相互理解し、支援者間のネットワークを強化することを目的に実施しました。対象者は市町村・保健所の精神保健福祉業務に従事する専門職（精神保健福祉士並びに精神保健福祉相談員、保健師等）及び一般職としました。

内 容	開催回数	延参加人数	担当職種
奈良県精神保健福祉センター事例検討会	5回	30名	医師、保健師、心理 判定員

5 支援種別

精神保健福祉活動の一環として、保健所及び関係機関に対して専門的立場から支援を行いました。支援の方法については、表5-1のとおりです。

表5-1 支援方法

対 面 支 援	対象機関で処遇しているケースについて面接相談したもの
電話コンサルテーション	対象機関の職員からの電話による相談
個別コンサルテーション	対象機関の職員が来所、又は当方から出向くことによる相談
講 師 派 遣	関係諸機関の依頼により研修会などへ講師として派遣
そ の 他	その他の関係機関の事業への支援

① 講師派遣（普及啓発）

関係機関からの依頼により、関係機関職員を対象とした研修会及び講演会などへ、表5-3のとおり講師派遣を行いました。

表5-2 講師派遣

講 座 名	開 催 日	テーマ	参加人数	担当職種
中南和勉強会	平成28年5月12日	精神障害者保健福祉手帳 について	21名	中南和地域の行政、 医療、事業所等の精 神保健医療福祉関係 職員等／精神保健福 祉相談員
奈良県DPAT研 修会	平成28年5月19日	DPATについて	25名	医師
奈良県薬事講習会	平成28年6月17日	自殺予防のための薬局の 役割	560名	医師・保健師

アルコール関連問題県民セミナー	平成28年11月24日 平成29年2月15日 平成29年3月5日 平成29年3月12日	アルコール健康障害を考 える	309名 (延数)	医師・事務職
生駒市ゲートキーパー養成講座（生駒市市内の民生児童委員対象）	平成28年11月2日	生駒市ゲートキーパー養成講座（アルコールとの関連を踏まえ）	34名	医師
奈良いのちの電話協会自主研修会	平成28年12月17日	自殺の現状と施策について	15名	医師

6 組織支援

地域精神保健福祉活動の一環として、表6のとおり専門的立場からの支援を行いました。

表6 組織支援

組 織 名	支援件数
奈良県精神障害者家族会連合会	1回
アルコール県民セミナー準備会（奈良県断酒連合会）	6回
奈良いのちの電話協会自殺予防連絡会	1回

7 精神医療審査会事務

精神医療審査会は、公平かつ専門的な見地から、医療保護入院者の入院届並びに措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告の審査と、精神科病院の入院者からの退院・処遇改善の請求の審査を行います。平成28年度の審査状況は、表7のとおりです。

表7 精神医療審査会審査状況

区 分	届出等の 件 数	審 査 件 数	審 査 結 果						取下げ	退院等の 審査要件 の消失	審査中	未審査
			入院等は 適 当	他の入院形態へ の移行が適当	入院継続 不 要	入院は 不 適 当	処遇は 不 適 当	計				
医療保護入院者の入院届 (法第33条第1項)	2,177	2,181	2,176	1	0			2,177	0	0	0	0
定 期 の 病状報告	措置入院者	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
	医療保護入院者	846	849	846	0	0		846	0	0	0	0
退 院 の 請 求	措置入院者	4	3	3	1	0		4	0	0	0	0
	医療保護入院者	52	51	51	1	0		52	0	0	0	0
処 遇 改 善 請 求	措置入院者	0	0	0			0	0	0	3	0	0
	医療保護入院者	10	4	10			0	0	10	0	0	0
	任意入院者	0	0	0			0	0	0	0	0	0
合 計	3,089	3,088	3,086	3	0	0	0	3,089	0	3	0	0

※審査結果の計=届出等の件数。審査件数については審査により「保留」となった場合も計上しているため、審査結果の計と同数になっていません。

8 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)の判定

精神障害者保健福祉手帳の取得により、当事者が各種サービスをうけることができるようになり、精神障害者の社会復帰・社会参加の促進を図ることを目的としています。又、自立支援医療(精神通院)制度により認定されれば、医療費の自己負担が軽減されます。平成28年度における精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)の判定状況は、表8-1、表8-2のとおりです。

表8-1 精神障害者保健福祉手帳所持者数 平成28年6月末現在

等級	1級	2級	3級	合計
精神障害者保健福祉手帳所持者数	1,271	5,566	2,151	8,988

表8-2 自立支援医療(精神通院)受給者数 平成28年6月末現在

保険種別	社会保険		国民健康 保 険	後期高齢者医療	生活保護	その他	合計
	本人	家族					
受給者数	2,097	3,241	7,128	776	2,325	0	15,567

表8-3 自立支援医療ICDコードカテゴリ別受給者数 平成28年6月末現在

ICDカテゴリ	コード	給付決定件数
症状性を含む器質性精神障害	F0	600
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F1	496
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F2	5,168
気分障害	F3	6,023
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F4	1,198
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F5	60
成人の人格及び行動の障害	F6	92
精神遅滞	F7	168
心理的発達の障害	F8	480
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	F9	210
てんかん	G40	1072
その他精神障害	F99	0
計		15,567

9 調査研究

精神保健福祉センターが平成28年に行った調査研究は、表9のとおりです。

表9 調査研究

県内市町村別調査	精神保健福祉業務年報
----------	------------

10 自殺対策事業

(1) 相談事業

① 電話相談「なら こころのホットライン」

平成22年1月より専用回線「なら 自死遺族・こころのホットライン」を設置し、自死遺族のためのこころの相談を開始しました。平成22年4月からは自殺予防として「死にたい」と思うほどのつらい気持ちを抱えた方にも対象を拡げて電話相談を実施しています。

開設時間：平日9:00～16:00

	自死遺族	自殺予防	合計
相談件数	9	709	718

② 面接相談

月1回、臨床心理士による自死遺族面接相談を実施しています。また、週1回、臨床心理士による自殺予防面接相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談者数	33	60	93
相談延件数	40	156	196

③ ハローワークでほっとコーナー

ハローワーク2か所で、週1回弁護士を派遣して、こころの相談を実施しています。

	実施時期	相談者数	相談延件数
ハローワーク奈良	金曜日 13:00～16:30	49	49
ハローワーク大和高田	水曜日 13:00～16:30	50	48

(2) 自殺予防に関わる人材養成研修

① 「若者のこころの健康」シンポジウム

実施日	平成28年11月19日(土)
会場	帝塚山大学 東生駒キャンパス
参加者	帝塚山大学の学生とその家族、教育関係者、一般住民、相談支援機関の職員など 合計41名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムテーマ 「若者のこころの健康」シンポジウム ー大切な人へのメッセージ：死ななくたっていいじゃないー ・シンポジスト 筑波大学教授 高橋祥友 先生 ぷりべんしょん ・コーディネーター 帝塚山大学心理学部・大学院心理学研究科教授 (奈良県自殺対策連絡協議会座長) 神澤 創 先生

② 学内ゲートキーパー研修

実施日	平成29年3月16日（木）
会 場	帝塚山大学 学園前キャンパス
参加者	大学職員、学生 合計14名
内 容	講義「帝塚山大学学内ゲートキーパー研修」 講師：帝塚山大学心理学部・大学院心理科学研究科教授 （奈良県自殺対策連絡協議会座長） 神澤 創 先生 帝塚山大学学生サークル ぷりべんしょん

（3）啓発事業

①こころの日 イベント

近鉄百貨店橿原店で、一般社団法人日本精神科看護協会奈良県支部が、当センターと共催で「こころの日」のイベントを開催しました。

こころの健康相談、認知症介護相談、ストレス度チェックなど、こころとからだの測定コーナーを実施し、センターの役割として、ゲートキーパー運動のDVDの放映、ならこころのホットライン啓発カードの配布を行いました。

②自殺予防週間(9月10日～9月16日)及び自殺対策強化月間(3月)のとりくみ

・奈良テレビ

データ放送

「自殺予防週間」及び「自殺強化月間」についての啓発

奈良テレビ放映・せんとくんマガジン掲載

帝塚山大学との連携事業「若者のこころの健康シンポジウム」についての放映および掲載。県の新たな取組として紹介。

・奈良新聞

「自殺予防週間」及び「自殺強化月間」についての啓発

・コミュニティFMラジオ放送

「自殺予防週間」及び「自殺対策強化月間」について啓発

・こころの健康相談統一ダイヤルへ参加をしました。

・平成29年3月1日（水）～12日（日）には、図書情報館にて、パネルの展示を行いました。

③その他

・県民だより「情報ファイル」、「養生訓」掲載

「ハローワークにおける無料法律相談」、「若者のこころの健康シンポジウム」、「ゲートキーパー普及啓発事業」

・ゲートキーパー普及啓発事業、自殺予防DVD市町村等配布による県民啓発

・デジタルサイネージの放映

平成28年4月～平成29年3月にかけて、「ゲートキーパー」、「ならこころのホットライン」「ハローワークで無料法律相談」の内容を盛り込んだデジタルサイネージの放映も行いました。

(4) ゲートキーパー講座

①市町村別ゲートキーパー講座開催状況

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人のこころの変調に「気づき」、話しを「聴き」、必要な支援に「つなぐ」、そして地域で「見守る」役目を担うゲートキーパーを養成し、地域における自殺対策を強化することを目的に実施しています。

市町村名	26年度				27年度				28年度			
	職員		その他		職員		その他		職員		その他	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良市												
大和高田市	3	80	8	230			1	17				
大和郡山市	1	16	3	66	2	29	1	23	2	46		
天理市												
橿原市	2	61					2	55	1	23		
桜井市	6	455	2	348								
五條市					1	31						
御所市									2	39		
生駒市			1	177					1	363	1	34
香芝市	2	46			2	43						
葛城市			2	34								
宇陀市			3	111			2	44			1	55
山添村												
平群町												
三郷町												
斑鳩町	2	62			1	33			1	32		
安堵町												
川西町			1	19							1	24
三宅町												
田原本町	2	40							1	161	1	40
曾爾村	1	37	1	12								
御杖村												
高取町											2	51
明日香村												
上牧町												
王寺町												
広陵町												
河合町												
吉野町												
大淀町												
下市町												
黒滝村												
天川村												
野迫川村												
十津川村												
下北山村												
上北山村												
川上村												
東吉野村												
合計	19	797	21	997	6	136	6	139	8	664	6	204

*その他（民生児童委員・ボランティア等の県民等を含む）

②関係機関・民間団体等ゲートキーパー講座開催状況

関係機関名	24、25年度		26年度		27年度		28年度	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
県民フォーラム	1	120						
帝塚山大学					2	33	1	14
奈良県庁内連絡会担当者	2	44						
奈良県教育委員会	1	45						
奈良県立朱雀高校					1	57		
奈良県職員（安全衛生担当者）			1	116	1	102		
奈良県消防学校			1	56	1	45	1	45
奈良県理容生活衛生同業組合	2	178						
奈良県美容職業訓練協会	1	32						
奈良女子大学	1	30						
奈良県宗教者連帯会議	1	19						
奈良県警察学校	1	16	1	15				
下市郵便局	1	28						
ハローワーク下市	2	11						
大和郡山市地域包括支援センター			1	50			1	21
白鳳短期大学			1	37	1	43	1	41
合 計	13	523	5	274	6	280	4	121

平成28年度は、39市町村中9市町村で、合計14回のゲートキーパー養成講座が開催され、868名のゲートキーパーが養成されました。また、関係機関でも4回のゲートキーパー養成講座で、121名のゲートキーパーが養成されました。

平成24年度からの5年間で、ゲートキーパー養成講座を開催した市町村は県内36市町村にのぼっており、ほとんどの市町村でゲートキーパー養成講座が開催されています。

③ゲートキーパー指導者養成研修

平成24年8月に自殺総合対策大綱が見直され、地域での実践的な取り組みの必要性が掲げられ、各地域での人材育成や事業展開が求められたことを受け、平成25年度から、各地域でゲートキーパーを養成する「ゲートキーパー指導者の育成」を行っています。

ゲートキーパー指導者養成研修は、平成28年度には1回開催し、合計32名が受講しました。

実施日	平成29年3月15日(水)
会場	奈良県保健研究センター
参加者	県内市町村、保健所、その他相談支援事業所等自殺予防対策に関する機関及び団体等の職員、合計32名
内容	<p>①県内のゲートキーパーを養成する研修の取組み事例を知る。</p> <p>②自殺予防および専門機関につなぐ前の初期対応について学ぶ。</p> <p>③ゲートキーパーを養成する研修の開催方法を習得する。</p> <p>講師 三重県こころの医療センター 診療部医長 長 徹二氏 奈良県精神保健福祉センター 精神科医 伊東 千絵子</p> <p>事例報告・大和郡山市第三地域包括支援センター 社会福祉士 木村 淳氏 ・大和郡山市保健センター「さんて郡山」保健師主査 太宅 敦子氏 ・白鳳短期大学 専攻科 地域看護学専攻 講師 山森 聖子氏 ・帝塚山大学 学生サークル「ぷりべんしょん」代表 才野 雄大氏</p>

市町村名	H26年度		H27年度		H28年度	
	受講者数	指導者登録者数	受講者数	指導者登録者数	受講者数	指導者登録者数
奈良市	1	1			1	
大和高田市	4	8	2		1	
大和郡山市		2	2		3	
天理市	2	2	1		1	
橿原市	2		1			
桜井市	5	1				
五條市	2	3				
御所市					2	
生駒市	1		1		1	
香芝市	5	3				
葛城市						
宇陀市					1	
山添村						
平群町						
三郷町						
斑鳩町		1				
安堵町						
川西町						
三宅町						
田原本町	1	1	1			
曽爾村						
御杖村	1					
高取町						
明日香村						
上牧町	1					
王寺町						
広陵町		2			1	
河合町						
吉野町		2				
大淀町		2			3	1
下市町						
黒滝村						
天川村						
野迫川村						
十津川村			1			
下北山村					1	
上北山村						
川上村	1					
東吉野村						
合 計	26	28	9	0	15	1

*指導者登録者数とは、ゲートキーパー指導者として活動出来る方を示す

(5) 天理地区医師会におけるアルコール依存症者への地域医療連携早期支援体制づくり

自殺対策の重点施策の一つである適切な精神科医療を受けられるようにするための取り組みとして、一般医療機関を受診したアルコール依存症が疑われる患者をより早期にアルコール専門医療機関につなぎ、動機づけや治療介入を行い、その問題を最小限にとどめ、改善できるようにするための体制を構築することを目的としています。

内容等

科 目	内 容	担当講師等
学習会	・ 不適切な飲酒患者や、アルコール依存症患者の診療時のスキルアップ	植松クリニック院長
アルコール依存症者等の早期支援体制づくり検討会	・ アルコール依存症者を取り巻く地域での状況・課題を共有し、各機関で取り組めることについて意見交換	天理地区医師会、アルコール専門医療機関、断酒会、天理市保健センター、奈良県郡山保健所、奈良県保健予防課等
調査研究	飲酒問題のある患者に関する事例の提供 依頼	天理市地区医師会員

(6) 自殺未遂者支援

自殺のハイリスク者といわれる自殺未遂者への対策は、自殺を未然に予防するために重要な課題のひとつであるため、人材育成、関係機関との連携により、自殺未遂者への支援体制を構築することを目指しています。

①人材養成研修

自殺予防のための電話相談研修会（再掲）

精神保健福祉や自殺予防の電話相談に従事する精神保健医療福祉専門職等が、自殺のリスクに配慮した相談対応の仕方を学び、さらに必要な場面で適切な機関につなぐことができるよう研修会を開催しました。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
講義・演習：「希死念慮のある人からの相談の受け方」 講師：特定非営利活動法人メンタルケア協議会 精神保健福祉士 西村 由紀 氏	平成29年1月20日	32名	当事者、家族、精神保健福祉専門職（保健、医療、福祉、行政職員等）

②関係機関への支援

救命救急センターに搬送された自殺未遂者に対してケース・マネージメントを実施している関西地区の医療機関（奈良県立医科大学等）の専門職を対象にした開催している事例検討会においてオブザーバーとして参加しました。

内 容	開 催 日	主催機関 (事例提供)	担当職種等
第2回・第3回自殺未遂者支援研修会（関西地区）	平成29年2月16日	奈良県立医科大学 関西医科大学総合医療 センター	医師 心理判定員

11 薬物依存症対策事業

(1) 薬物依存症対策に関わる人材養成研修

保健医療福祉関係機関に所属し、薬物依存症者やご家族の支援に携わる職員が、薬物依存症の理解と支援の基本を学び適切な支援が図れることを目的として研修会を実施しました

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
講義・演習：「薬物依存症者への支援～薬物再乱用防止プログラム～」 講師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦 氏	平成28年9月30日	32名	保健医療福祉関係機関に所属し、薬物依存症者やご家族の支援に携わる職員

(2) 薬物等依存症者治療・回復プログラム

平成28年度より、当事者への支援として、全国で先行実施例のある『SMARPP』を活用した効果的なプログラムを奈良県内で受けられる環境を整備し、関係機関と協力しながら薬物依存症者を支援する連携体制を構築することを目的に、集団による治療・回復プログラムを開始しました。平成28年度は、先行実施している複数のワークブックを基にオリジナル版を作成し、関西医科大学精神科医師の池田俊一郎氏、木津川ダルク施設長の加藤武士氏、および当事者である参加者からの助言を踏まえながら、奈良県版プログラムを作成しました。

平成28年度の参加者は、ダルク入所者で回復を目指し当プログラムへの参加を希望している者を対象としましたが、今後対象者を拡大していく予定です。

開催日	テーマ	参加者数
1月17日(火)	なぜアルコールや薬物をやめなきゃいけないの	2名
1月24日(火)	引き金と欲求	2名
1月31日(火)	回復の地図	2名
2月7日(火)	依存症とはどんな病気？	2名
2月14日(火)	あなたのまわりにある引き金について	3名
2月21日(火)	あなたのなかにある引き金について	3名
2月28日(火)	回復のためにー信頼と正直さー	3名
3月7日(火)	再発を防ぐには	3名
3月14日(火)	再発の正当化・「強くなるより賢くなるう」	3名
		延23名 (実人数3名)

奈良県精神保健福祉センター所報（平成28年度）

平成30年3月 発行

編集・発行 奈良県精神保健福祉センター

〒633-0062 奈良県桜井市粟殿1000

電話：0744-43-1474

FAX：0744-42-1603

Email：seishin-hw@office.pref.nara.lg.jp